

※スルーしないで、
ぜひ人事・人材育成部門にお見せください...

社会が
変わる
ば、
脳を
知れ
ば、

脳とAIの知を証明し未来への扉を開く

一般社団法人応用脳科学コンソーシアム

応用脳科学資格検定制度 (応用脳科学プラクティショナー)

医療・教育・福祉・ビジネスなど、あらゆる分野で注目される「脳科学」。
一般社団法人応用脳科学コンソーシアムでは、確かな科学的知見に基づいた
知識を実践に活用できる能力を証明する「応用脳科学資格検定制度」を2023年
に創設しました。誰もが“正しく脳を理解し活用できる社会”を目指して一

資格取得のメリット



社会人

- ・リスキリング
- ・キャリアアップを実現



学生

- ・能力の証明
- ・就職活動で差別化



企業

- ・従業員・採用応募者のスキルや思考特性の評価指標

3つの特長

1

受験資格は年齢制限なし、どなたでも受験可能

2

応用脳科学アカデミーの講義内容に密接に対応

3

応用脳科学プラクティショナー[®]合格証書を発行

脳科学関連分野で活躍する研究者・有識者が監修する科学的エビデンスに基づいた「応用脳科学資格検定制度」

脳科学の応用技術が進展する中、次世代の専門人材を育成するために創設された検定制度。産業応用に必要な基礎スキルを評価し、ビジネスで活用可能な知識を証明します。さらに、得た知識やネットワークを活かし、エバンジェリスト・アンバサダーとして産業の発展を促す役割を担う能力を示す制度です。

資格検定制度の概要

★トップレベルの研究者による監修

茨木 拓也
(株式会社NTTデータ経営研究所)
梅田 聡(慶應義塾大学)
大隅 典子(東北大学)
片岡 洋祐(神戸大学)
金井 良太(株式会社アラヤ)
銅谷 賢治
(沖縄科学技術大学院大学)
本田 学
(国立精神・神経医療研究センター)
松元 健二(玉川大学)
山岸 典子(立命館大学)

★検定概要

- ・ 制度名称
応用脳科学資格検定制度
- ・ 資格名称
応用脳科学プラクティショナー
- ・ 試験方式
IBT(Internet Based Test)
- ・ 試験時間:60分
- ・ 問題:多肢選択方式50問
- ・ 試験時期:2025年11月(予定)
- ・ 受験料:11,000円(10,000円+消費税1,000円)
- ・ 資格有効期限:3年(更新制度あり)

★出題分野

- ・ 基礎(神経科学、心理学、認知科学等の脳科学基礎知識)
- ・ 脳と健康・脳を育む(脳に関連するヘルスケア)
- ・ 脳を知り脳に聞く(ヒトの内面的な経験や行動の理論や研究手法)
- ・ 脳から学ぶAI(神経回路等、脳の情報処理に関する情報科学的な知識)
- ・ ELSI(倫理・法・社会的課題)
- ・ ビジネス脳科学(応用的な脳科学・心理学・行動科学等)

効果的な習得

CANだからこそ実現できる、成果へ直結する学習アプローチ

効果的な受験対策は応用脳科学アカデミーの受講がおススメ！
一流の専門講師陣の講義を視聴し、効率的かつ実践的にスキルを習得！

メリット

1. プレミアム会員以上は無制限にアカデミー受講が可能！
2. 学生は受講金額が半額！
3. オンデマンド形式で必要な講義を選択・複数回視聴が可能！



お申込み・お問合せ

- 募集開始(メールマガジン・ホームページで告知)しましたらホームページよりお申込みできます。
- メールマガジン(無料)のご登録はこちら 
- お問い合わせ: 応用脳科学コンソーシアム事務局 can@can-neuro.org

